

NPO法人あいちかすがいっこ を知ろう！

平成26年11月にあいちかすがいっこから
NPO法人あいちかすがいっこに生まれ変わりました。
NPO法人とは「利益」を追求するのではなく、
「理念」を追求する団体です。
そして、私たちの理念は“ママの様々なはじめの一步”を
応援することです。

NPO法人
あいち
かすがいっこ
活動理念

子育て孫育てに関わる全ての人の「はじめの一步」を助長し、
「助け合う」「支え合う」「認め合う」「見守る」
地域づくりを基本理念とし、地域と連携をはかり、
繋がる・広がるネットワークづくりに関する事業を行い、
子どもと大人、個と社会それぞれが、互いに
「支え合い・助け合う」ことが自然にできる環境
を目指すことを目的とする。

あいち かすがいっこの 6本柱

1：子育て情報の循環整理事業

【あいちかすがいっこ広場】

当法人の運営するホームページ。雑多な情報が混在する「インターネット事情」。その中で「必要な情報」「だれもが受けられるサービス」などを発信し、『どこに相談したらよいか』わからない子育て世代に向けた発信をする。また、自団体の提供する情報も発信する。

【ハッピーママズの運営】

春日井市が29年度4月から開設するホームページ。

現在、行政の発信する情報と民間が発信する情報が混在しているが、その情報の一本化を目的として行う。

【その他SNS】

「子育て情報をどこから得ているか？」という質問に対する答えで2番目に多いのがフェイスブックやツイッター・インスタグラムなどである。（1番はママ友の口コミ）上記の情報だけでなく、“提供する側の情報”ではなく“受け取り手の情報発信”にも目を向ける。

情報を一本化を目標に、情報の循環整理を行う

あいち かすがいっこの 6本柱

2：次世代育成事業

【父親教育】企業に対し社員それぞれの「家庭」への理解をするための指標の提案。子育て社会の現状を知ること、家庭での父親の役割や、仕事に対する“やりがい”を家庭という側面から向上を図る講座を開催する。

【子育て支援者養成講座】母親が、“女性”から“母親”に変わったとき、そこには必ず“子どもを通じて関わる社会の変化”がある。それを学び、支援される側だけでなく、支援する側をすることで相互の理解が深まり、子育て世代をとりまく社会の変化をもたらすことのできる講座を開催する。

【あいち防災プロジェクト】

春日井市、瀬戸市、一宮市、名古屋市、蟹江町がつながり、いざ発災した時に

“公助”だけでなく“自助”“共助”の意識を持ち、「子どもの命を守る」・「家庭を守る」ために自分たちができることを知り、動ける人材を育成しつなげることを目的とするプロジェクトを行う。29年はネットワークの拡大（安城・岐阜羽島）と、発災時の輸送手段の協定（大和エネルギー株式会社×王子ネピア株式会社）

後継者を常に意識し、そのためのノウハウを継承し、継続していく。

あいち かすがいっこの 6本柱

3：地域交流・活性化に伴うイベント事業

【ネピア春日井ブランド化推進プロジェクト】

春日井市に工場のある地元企業「王子ネピア(株)」と、春日井市・商工会議所と連携し、地元のブランドを市内・市外でPRすることで、地域を取り巻く産業の向上を図るプロジェクトを行う。

【ママの文化祭®】事業規模 来場者数目標：4,000人前後

～地域を巻き込みみんなで子育て～子育てをするのは、その子どもを取り巻く家庭だけではなく“社会全体”でそれを支えているということ、地元のママを中心に実行委員を立ち上げ、イベントを作り上げるイベント。今後このノウハウをパッケージ化し、他の地域での開催を促進する

【ちょっと小さなママの文化祭®】事業規模 来場者目標：300人前後

ママ文化祭開催を目標に、まずは地域で根付くイベントとなるよう、「ママの文化祭」という名前を使い子育て中のママのあつまる場を提供するためのイベント

自分の暮らす街を好きになることで、地域の魅力を再発見する

あいち かすがいっこの 6本柱

4：子育て世代の交流、居場所を作る事業

【0歳児の親子広場 「なないろ広場」】

月に一度0カ月から8カ月児の赤ちゃんとその保護者と対象に開催しているおやこ広場。コミュニケーションの希薄化が言われる中、個と個がつながるための場所を提供することでインターネットで得た情報ではなく、育児の生きた情報を交換できる場を作る。我が子の成長とともに忘れてしまう「初めてママになった頃の気持ち」を感じ、“私の子育て”ではなく“今の子育て”に直視し、当事者の意識を感じ課題をみつける。

【子育て支援サークルや団体の情報提供】

未就園児（0から3歳）を対象に活動する団体の活動を実際に未就園児を持つママスタッフが参加し、レポートする。

これは、ママたちが知らず知らずのうちに巻き込まれている「ネットワークビジネス」や「宗教」トラブルの回避にもつながる。また、だれもが受けられる行政の無料のサービスが充実している春日井市を知ってもらう。

ママのつながりを自然につくりだすことで、リアルな子育てを共有する

あいち かすがいっこの 6本柱

5：母親の社会復帰を応援する事業

【4か月児健康診査紙オムツのサンプリング】

現在春日井市の4か月児健康診査で行う健診内で、ネピアブランドプロジェクトの一環としてサンプリングを行う。

【大和エネルギー(株)カスタマーセンターの管理業務】

利用者拡大を図るために、希望者へ会場案内や申込や受付管理を行う。
また、清掃業務を子育てママに依頼し社会との繋がる場を提供する。

【ノックノックホームサポート事業】

春日井市からの委託事業。ちょっと先輩ママが申込者の家庭を訪問し、子育ての悩みなどを傾聴する事業。この業務は受付管理・訪問員コーディネート・春日井市への報告を行う。

社会活動を体験・体感することで、それぞれの「これからの私の姿」を考えるきっかけとなる

あいち かすがいっこ の6本柱

6：女性のライフスタイルに関わる事業（今年度より）

【女性の生き方とは？】

少子化問題の解決をするには、「子どもを産みたい」と思う女性と「子どもを作りたい」と思う男性が絶対に必要となる。

そして、昨今取り上げられる「子どもができにくくなっている体の問題」。

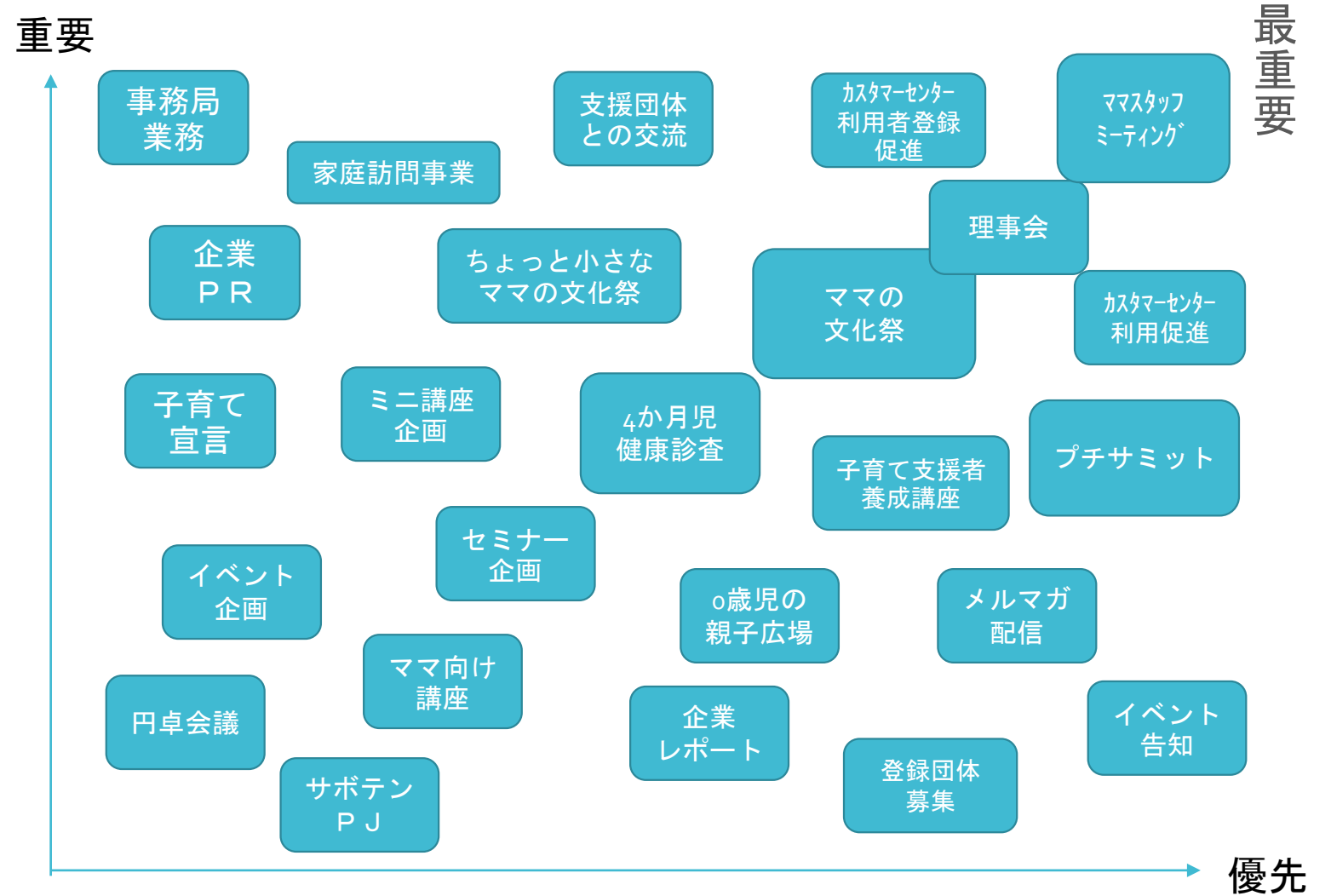
不妊に悩み治療を検討する女性が増える中で、その女性を取り巻く環境に理解が薄いため「子どもを産む」ことを諦める女性も少なくない。

“子どもは未来の財産”、一人でも多くの女性が子どもを産むことができる社会にするために、“子育てしやすい街春日井”だけではなく、“子どもを作り産み育てることができる街春日井”を目指す。

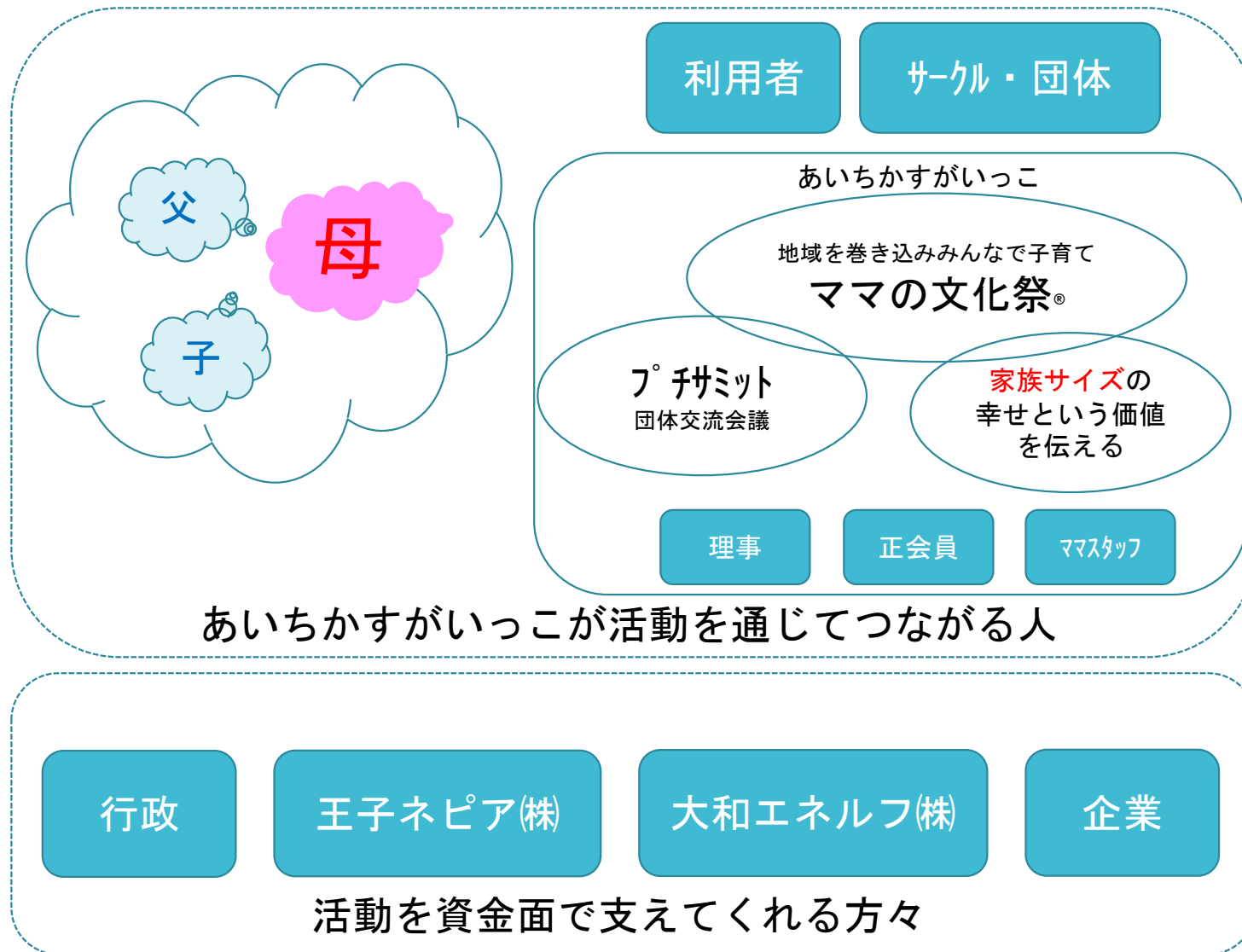
“支え合い助け合う”街づくりのために、男女がそれぞれの立場を認め合える社会づくりを目指す。

さらに細かく 業務を見ると

…
いろんなことやってます



あいち
かすがいっこ
を取り巻く環境。



あいち かすがいっこ のカタチ



一般会員

年間費：5000円
年に1度の総会に出席し、
法人の事業を応援する。
どなた様でも会員になれる。

情報提供会員

年間費：0円
あいちかすがいっこ広場
への情報提供



正会員

代表

ママスタッフ

企業会員

年間費：30,000円
あいちかすがいっこから
提案するサービス。

理事...年間費：5000円（会員でもあるため）
理事会に出席し、法人の事業の内容に意見等ができる。法人からの依頼の元、選出される。

仲間の紹介

あいちかすがいっこの
理念に基づき
共に前進する
仲間



宮田智美(ミヤトモミ)
1男1女の母
【事務局
ネピアPJ担当】



代表
松元永己(マツトモミ)
1男1女の母



水上美晴(ミズガミハル)
1男1女の母
【事務局
イベント事業担当】



小菅祐美(コサガ ユミ)
1男1女の母
【子育て広場
委託事業担当】



豊田有美子(トヨタ ユミコ)
1男1女の母
【広場レポート担当】



佐々木里衣子(ササキエコ)
2女の母
【広場レポート担当】